

原油高騰に対する現地対応事例

地方	作目	品目	暖房方法の効率化			被覆方法の改善			栽培方法の改善		事例の内容
			効率的な温度設定の実施	循環扇による温度ムラの解消	多段階サーモによる変温管理	内張資材の導入による保温性の向上	保温性の高い被覆資材の導入	内張資材等の隙間の補修	作期・作型の変更	品目の転換	
県中	花き	鉢花									暖房費が多くかかる作型を見直すとともに、こまめな温度管理と、外部被覆の隙間補修や保温資材の見直しにより、暖房効率の向上を図っている。
県南	野菜	みつば									保温資材の多重化や循環扇設置により、施設内温度ムラをなくし、暖房効率の向上を図っている。
会津	花き	トルコキョウ									植物の生育にあわせた温度管理と水分管理の工夫により、切花品質を維持しながら暖房費の削減を図っている。
相双	野菜	いちご									タイマ・設置連動による循環扇を設置し電気代を抑えるとともに、室内の温度むらをなくし暖房効率を高めている。また、被覆多重化により、室内の保温性を高めることで設定温度を下げ、暖房費の削減に努めている。
技術導入に係る留意点等			低温管理により、草勢の低下や開花の遅延など、収量や品質に影響を及ぼすおそれがあるので、生育状況に十分注意し、適温管理に努める必要があります。また、暖房機等の点検・整備・清掃を行い、暖房効率を高めることが暖房費の削減に有効です。			内張資材の導入により保温性は高まりますが、光線透過性が低下することが想定されますので、被覆資材の洗浄や採光を妨げる資材・機材がないように点検してください。また、被覆資材の隙間や破れは見つけ次第すぐ対処し保温性の確保に努めましょう。			作型の変更や品目の転換は暖房費の削減につながりますが、経営面からの検討が必要です。特に、他産地との競合等による大幅な単価減となる品目や作型変更に伴う次の作への影響などについて検討する必要があります。		